

理事長（代表理事）講演

演 題：「新しい風を学会に ―理事長（代表理事）就任にあたって―」



講演者：田中 宏二

岡山大学名誉教授・エグゼクティブアドバイザー

司会者

プロフィール

1942 年生まれ。広島県出身。広島大学大学院教育学研究科実験心理学専攻修了。文学博士（広島大学）。大分医科大学助教授、1985 年～1986 年メリーランド大学客員研究員を経て、1991 年より岡山大学教育学部教授。2000 年～2004 年教育学部長を併任、2005 年～2011 年副学長・理事。2011 年より現職。

〈専門分野〉健康社会心理学、職業心理学。〈研究主題〉ソーシャルサポート機序、いじめ・がん患者・高齢者サポート介入、教師ストレス、職業ストレス検査（OSI）開発等に関する論文多数。

概要・趣旨

日本健康心理学会は 2010 年に一般社団法人となり、心理学学術団体として社会的評価に耐える学会として一層の発展が期待されています。第 2 期理事長（代表理事）の就任にあたり、法人化した新生健康心理学会の将来に向けて、ビジョンを語り、改革プランとその行動計画を述べたいと思います。会員の皆さんと共に、学会に新しい風を吹き込んでいきたいと願っています。

講演では、下記に示すような学会の置かれた現状の様々な課題を提示し、その改革へ向けて短期的、中期的改革計画について提案します。

- I 健康心理学の学問的発展を促進する
 1. 研究活動の活性化
 2. 学会機関誌「健康心理学研究」の魅力・評価を高める
- II 開かれた学会運営を目指す
 1. 理事執行体制の実質化、活性化
 2. 公明な事務局体制
 3. 会員とのコミュニケーション活動の充実（HP の充実、電子メールニュースなど）
- III 健康心理士実践活動の支援、資格向上
 1. 健康心理士の実践的な技術向上を図る。養成、試験、研修プログラムの見直し
 2. 医療・保健領域など実践的な組織との連携を行い実践力の育成
 3. 国家資格化など資格の認知度を高め、専門的職域を拡充する支援
- IV 学会の国際活動の活性化
 1. 海外（特にアジア）の健康心理学会との交流促進
 2. 若手研究者の国際研究集会への派遣支援

なお、講演終了後に、具体的な改革プランの実行を担う、機関誌編集、研究推進、資格認定・研修、実践活動、国際、広報など各委員会を担当する常任理事を交え、会場の皆さんと意見交換の場を持つ予定です。